樹徳交流館だより

第２６号
２０２６年１１月１２日
発　行　樹徳交流館
TEL 925−0718
jyutoku-krk@city.
fukuyama.hiroshima.jp

樹徳学区　自主防災訓練について

今年も、台風や豪雨などの自然災害により各地で非常に多くの犠牲者や家屋の損害等が発生しています。皆さんもテレビなどの報道を通じ災害意識が高まっていることと思います。樹徳学区では学区民の防災意識をより向上させるために、次の通り自主防災訓練を実施します。「備えあれば憂いなし」ということわざもあります。皆さん奮って参加してください。

と　き　　11 月 22 日（日）８：５０集合
ところ　　樹徳小学校　運動場　　雨天の場合　体育館
（上履きを持参してください）

内　容
- AED(自動体外式除細動器)操作訓練
- VR 自然災害体験、ロープの結び方
- 水防訓練（土嚢積み、水消火器、煙体験）
- 避難場所体験訓練（樹徳小学校 南棟 3 階）

服　装　　活動しやすい服装・運動靴・軍手（当日配布）
その他　　非常食：アルファー米 配布





小学校三年生以下のこどもさんは、保護者と一緒に参加をお願いします。
保護者の方の参加も大歓迎です。
多くの皆さんの参加をお待ちしています。

※　まちパス対象行事です。”マイパスポート”を持参してください。

※　問合せは樹徳交流館まで（☎925−0718）

―樹徳学区まちづくり推進委員会・樹徳学区自主防災組織―

世代間交流コンサート　－大サクラサクコンサート－

10 月 27 日（火）樹徳小学校体育館において、参加型の世代間交流コンサートを行いました。大サクラサク　沖縄の楽器三線・ウクレレ・歌とのコンサート。一生懸命に耳を傾けて、聴いていました。

樹徳小学校三年生、樹徳保育所、こどもえんつくしの皆さんの歌や踊り、更生保護女性会の皆さんのペープサート「日天さん　月天さん」最後にみんなで一緒に「さんぽ」を歌い、大変盛り上がった交流会となりました。



【大サクラサク】



【更生保護女性会】



【樹徳小学校三年生】



【こどもえんつくし】



【樹徳保育所】

頭の体操

折紙で干支を作ろぅ

来年は何の年かな？

良い年になりますようにと願いを込めて、来年の干支「ひつじ」を折紙で折って、素敵な色紙を作りましょう。

と　き　　12 月 2 日(水）13:30～
ところ　　樹徳交流館　2F　会議室
講　師　　前原　幸子さん
材料代　　650 円(当日集めます）
定　員　　15　人



※申込み・問合せは樹徳交流館まで（☎925-0718）

―　樹徳学区まちづくり推進委員会　―

ふるさと再発見事業　（2026 年度　第 2 回）

樹徳学区文化財めぐり　**―福山城博物館を探検しよう―**

と　　き　12 月 4 日（金）　集合時間　9 時
（終了は 12 時頃を予定しています）
集合場所　樹徳交流館
持 参 物　飲み物・筆記用具　など
講　　師　鐘尾　光世さん
（福山市文化財保護審議会委員　元福山城博物館館長）
※　学芸員熊野一就さんがご案内してくださいます。
定　　員　20 人
入 館 料　大人　200 円（福山市在住　65 歳以上は無料）
※　証明となるものを持参　免許証・マイナンバーカードなど

※動きやすい服装・寒さ対策で参加してください。

※申込み・問合せは樹徳交流館まで（☎925-0718）

―　樹徳学区まちづくり推進委員会　―

みんなでチャレンジ広場

「映画会」にチャレンジ

無料

映画会を行います。皆さんはどんな映画を見ますか？
悪役なのにどこか憎めない５人のチームワーク、「人は見た目や評判だけで決めつけられない」作品の面白さがあります。家族でも気軽に楽しみやすいです。

と き　12 月 6 日（日）9:00（集合）9:30（上映）
ところ　樹徳小学校　体育館
内 容　バッドガイズ



※ 寒さ対策は各自でお願いいたします。（座布団・ひざ掛けなど）
※ 上履きを持参してください。

※申込み・問合せは樹徳交流館まで（☎925-0718）

―　樹徳学区まちづくり推進委員会・樹徳学区子ども会育成協議会　―

樹徳学区人権啓発講座　―映画鑑賞―

10 月 31 日（土）樹徳小学校において「父と僕の終わらない歌」の映画の上映を行いました。
参加頂いた皆さん、本当にありがとうございました。
参加者の映画の感想を紹介させていただきます。

・身につまされる思いで、地域活動に努めたい。
・親子の絆に心を打たれました。
・自分の身内の記憶障害について、色々考えさせられる内容だった、身近に存在するマイナー層の人の事も特に配慮しすぎることではなく一人の人として接することがとても重要だと思った。
・映画館へ観に行けなかったので、なお良かったです。
・そんな、認知症の人がいるんだなと思えた。
・感動な感じでとてもいいと思いました。
・面白かったです。人権の事が分かった。楽しかったです。１０代
・認知症になっても自分の思いを持っていること。それを大切にし、そして理解していくことが大切だと痛切にそうおもいました。映画の中の家族はとてもすばらしい家族だと思った。
・アルツハイマー型の認知症の方と関わりがあり、世話取りもさせて頂いていますが、参考になる点も多々あり、学ばさせて頂きました。
・あるがままの想いやり、難しいけれど努力したい。
・ひとりひとりの人権を理解して社会が良くなって行くといいなと思いました。
・身内に対象者がいないため、映画の内容が身にしみて考えさせられる内容でした、しっかりと考えて行動したい。
・誰もがなりうる認知症ですね、でも前をむいて笑顔ですごしたいですね。
・自分と妻には両親は既に他界して居ません。自分が妻や子ども、他人に迷惑を掛けず生きて行けるか不安である。
・スマイル　笑顔を忘れず　頑張りたいです！義母が認知になり、最後に息子たちの名前が分からなくなった事を思い出しました。
・とても考えさせられる内容の映画でした。ありがとうございます。時間が合えば講座参加したいと思います。
・地域の絆が大切だと思った。たいへん良かった。
・色々な問題がありながらも明るい映画で良かったです。「誰も傷つけない」と言う言葉が印象的でした。
・いつでも、誰にでも向き合う、出会う事を、改めて思い返します。自分らしく時間がかかってもいいので、前を向き生きていく事で必ず笑顔が増していくと思います。
・認知症、性的マイノリティなどなど、重いテーマでしたが家族や地域・友人などに支えられて「自分らしく生きる」とは、を　笑いあり、涙ありで考えさせられた。ハートフルな映画でした。ありがとうございました。
・胸が痛くなりました。周りの人のあたたかさ、理解があるところ、良いと思いました。アルツハイマー、マイノリティ、なかなか思うようにはいきません。笑顔と、人を傷つけないこと、自分自身も大切にすることは、いつでも大切にしたいと思いました。
・もし自分の親がアルツハイマーになった時、自分はどのように対応できるのかなと、とても考えさせられたなと思いました。
・今、共生社会の意識が強く求められていると思う。

アンケートにご協力してくださり、ありがとうございました。